

【絆 KIZUNA】

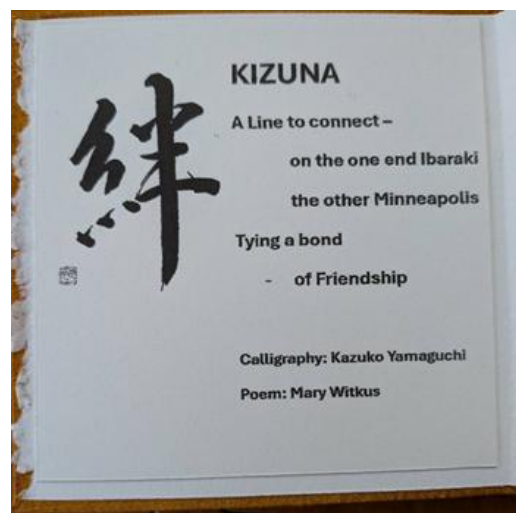
茨木市ミネアポリス市姉妹都市提携 45 周年にむけて、ミネアポリス MISCA の Mary Witkus さんが「絆 KIZUNA」というタイトルのとても素敵な詩を寄せてくださいました。

絆 KIZUNA

A Line to connect-
on the one end Ibaraki
the other Minneapolis
Tying a bond
-of Friendship

Calligraphy: Kazuko Yamaguchi

Poem: Mary Witkus



そして Mary さんのプロジェクトである

「book 作り」(写真左)において、
ほら、わかりますでしょうか？

茨木市とミネアポリス市を結ぶ絆
ー友情ーが全ての「book」を貫いて
茨木とミネアポリスを結んでいます。
(写真右)

ひとりひとりが繋がっているのだと
Mary さんは仰っています。



さて、ここで Maryさんを魅了した言葉「絆」の書入り記念カードの誕生秘話を・・・

話は1年前に戻ります。IINで長年の交流活動を記念するカードを作ることになりました。



記念の言葉を数多の候補から「絆」に絞り、Yさんに書を依頼しました。Yさんは躍動感あふれる行書で何回、何十回も練習し半紙と色紙に清書して下さいました。

そのYさん直筆の「絆」の印刷化に取り組んで下さったのがKさんです。スマホの写真機能を使って写真を編集。たくさん機能がありますがどう違うのだろうか？半紙の模様を目立たなくすると肝心の文字が薄くなり、力強い文字を求めると全体が薄曇りに。色紙の書も墨汁の油分のせいか、フラッシュを使うと黒光りしてしまいます。時は真夏。カーテンを閉め切り電灯を点けると、文字が反射して今度は白光り。じゃ、ベランダはどうだ？と自然光で試しますが、連日36度、37度超えの屋外は暑い暑い!! 陽射しもキツイキツイ!! やはり黒光りして全部ボツ。落款も加えたことで、その朱と書の黒のバランスにも悩み、コマ撮りしてはチェックを繰り返すこと70回超え。まさに渾身の奇跡の一枚でした。

その奇跡のカードをbookという形に広げて下さったのがMaryさんです。

Maryさんを動かした記念カードの誕生秘話を皆様と分かち合いたく、ここにご紹介いたしました。